

2025年度 事業計画

日本に暮らす外国人数は、2024 年 12 月で 370 万人を超え過去最高となっている。依然として、可児市においても、外国人の転入は、毎月微増している。特徴は多国籍化である。子どもも増加している。日本の人口減少が深刻化し、さまざまな場面で外国の人たちに頼らざるを得ない現実を受け止めて、共生に向けた事業の展開が必要である。

そして、可児市国際交流協会は、フレビア開館以来、急速に事業が展開し、活動の幅を広げすぎたため事業仕分けを少しずつ進めることとした。交流のためのフレビアカフェの一時閉店や共生言語としての語学講座、紙媒体の情報提供をやめ、情報提供の在り方を昨年度、見直した。

次の指定管理申請までに体制の立て直しを図り、協会として「協賛を得られる団体」へ方針転換していくと決めた。子どもも大人も日本でどのようにキャリアを形成していくかというキャリア教育に重点を置き、事業を展開していく。

A 可児市多文化共生センター管理運営事業（可児市指定管理委託事業）

- 1 情報の収集・発信・提供業務
- 2 日本語の学習支援業務
- 3 在住外国人の相談に関する業務
- 4 市民交流の場と機会の提供業務
- 5 多文化共生センターの管理運営業務
- 6 その他総務関連

B 多文化共生にかかわる事業（協会自主事業）

- 1 言語学習支援活動
- 2 外国人の子どもの教育支援事業
- 3 地域社会への多文化共生促進事業
- 4 情報交流・発信活動
- 5 協会事務局体制

A 可児市多文化共生センター管理運営事業（可児市指定管理委託事業）

1 情報の収集・発信・提供業務

- ・資料・図書の整備・日刊紙の閲覧と関連記事の掲示
- ・多言語での情報提供及びイベント等地域情報等の掲示や提供
- ・HP、メールマガジン、フレビア facebook（日本語教室 facebook）の活用、Instagram での動画配信など SNS の活用拡充
- ・無料 wi-fi
- ・フレビア便りの発行

2 日本語の学習支援業務

- ・日本語交流教室
内容：読み書き、会話、グループで学習及び文化体験等
土曜日 19:00～20:30 回数：30 回
- ・日曜日日本語教室
内容：地域生活者として必要な会話やことばの学びあい及び文化体験等
日曜日 対面 13:30～15:30 回数：30 回
- ・日本語多様化
内容：・日本語能力試験対策講座 回数：10回 不定期
・日本語基礎クラス 回数：8回 不定期

3 在住外国人の相談に関する業務

- ・日常相談窓口（常設）
内容：在住外国人の日常生活全般、市民活動や交流・施設利用などの相談窓口業務
外国人相談窓口：9:00～18:00 ポルトガル語、フィリピン語、英語
スペイン語（平日 12:00～21:00 土曜日 9:00～18:00）
日常生活相談等は、開館時間内
- ・法律相談会 毎月第1日曜日 13:00～15:00
- ・入管相談会 毎月第2日曜日 9:00～12:45
- ・災害時対応訓練の実施
多言語支援センター立ち上げ訓練及び災害時ボランティア研修
対象：災害時ボランティア登録者、在住外国人及び外国人に関わっている人
水防訓練 6月1日（日） 可児市の訓練と連動し実施
防災訓練 9月7日（日） 可児市の訓練と連動し実施
災害ボランティア研修 登録ボランティアのブラッシュアップ研修
- ・避難訓練 7月、10月

4 市民交流の場と機会の提供業務

・文化理解・交流活動

「多文化共生フェスティバル in 可児 2025」

内容：多様な文化の発表と交流、食で知る多様な文化の祭典

時期：10月26日（日）予定 10:00～15:00

予備日 11月2日（日）

フレビア全館を使い、多様な文化の体験の場を提供する

運営：実行委員会メンバーが中心になって実施

「民族文化理解のための作品展示・交流・発表会の開催」

特技や趣味を生かした芸術・文化・芸能・小間物作品などの発表・展示・交流

5 多文化共生センターの管理運営業務

・センターの窓口業務、使用許可業務（使用申請の受付・許可・利用料徴収）

・センターの施設・設備の維持管理業務（日常点検・保守及び保安、清掃等）

・一般受付対応時間：9:00～22:00（常時2名・夜間1～2名 昼間・夜間の2シフト体制）

・センターの管理・運営日常業務は協会の事務局スタッフ職員が全て担う

事務管理担当：常時2名体制（一般受付と同じ）

業務時間：昼間業務：9:00～18:00、夜間業務：17:00～22:00

休業日（休館）：毎週水曜日及び年末年始（12月28日～1月4日）

・管理運営業務の実施状況（利用状況、来場者数、相談件数、経理状況、施設保守点検等について、毎月10日までに実績報告書を可児市に提出）

6 その他総務関連

業務委託

- ・施設機械整備
- ・電気保安点検
- ・ごみ収集
- ・清掃、床ワックス
- ・防災設備点検
- ・空調点検
- ・夜間管理
- ・会計

*視察対応は有料とする

B 多文化共生にかかわる事業（協会自主事業）

I 言語学習支援活動

1) 子どもの語学学習教室

ポルトガル語学習を通じ、母国の文化を学ぶ

- ・基礎から学ぶポルトガル語

平日クラス 2クラス 土曜日クラス 4クラス 2時間半

- ・ポルトガル語で英語

土曜日 4クラス 1時間

- ・グローバルクラス

火曜日 2時間半

2) 相互理解のための語学学習活動

- ・語学サロン

スペイン語サロン	第2、第4土曜日	10:30～12:00
スペイン語サロン（ラスマハス）	第2、第4土曜日	13:00～14:30
ハングルサロン（サランバン）	第2、第4木曜日	10:30～12:00
ハングルサロン（チェミイヌン）	第1、第3木曜日	10:30～12:00
ポルトガル語サロン	第1、第3木曜日	19:00～20:30
中国語サロン（長城）	第1、第3土曜日	10:00～12:00
中国語サロン（青藍）	第1、第3土曜日	14:00～15:30
英語サロン(Rainbow)	月1回	11:10～12:10

＊ワンコイン体験サロン

- ・短期集中講座

3) 語学通訳・翻訳業務

- ・各種通訳・翻訳 ボランティア登録者を紹介

（ポルトガル語、英語、フィリピン語、中国語、ベトナム語、スペイン語など）

4) 地域日本語教育支援事業

- ・文化庁地域日本語スタートアップ事業アドバイザー派遣（御殿場市）

キックオフ会議 アドバイザー会議

- ・岐阜県地域日本語教育コーディネーター派遣事業協力

企業内日本語教室のコーディネーター

行政主催の日本語教室のコーディネーター

- ・岐阜県国際交流センター事業への協力
- ・企業内日本語
- ・「やさしい日本語」研修の普及

2 外国人の子どもの教育支援事業

1) 子どもの就学支援事業 【可児市委託 外国人の子供の就学促進事業】

①在住外国人の子どもの就学支援「ゆめ教室」 場所：フレビア

不就学、不登校、自宅待機の義務教育年齢の子どもの学校につなげる日本語や教科指導
体験学習や地域交流、進路ガイダンスなど

月・火・木・金 10:00～12:00

②就学前の準備指導「ひよこ教室」 場所：Lポート可児

小学校入学のための準備指導、集団生活や日本語に慣れる、学校のルールを知るための
生活指導等

未就園児： 前期 4月～9月 9:30～12:00

後期 10月～3月 9:30～15:00

認可外保育所園児の日本語や生活指導 9:30～12:30

保育園、幼稚園巡回も含む

③補習教室「きぼう教室」 会場：フレビア及び可児市総合会館

小学生クラス 土曜日 10:00～11:30

13:00～15:00

おもに国語（日本語）と算数の基礎学習

中学生クラス 土曜日 15:30～18:30

1～2年生はドリル学習、3年生は受験対策など

放課後クラス 火・木 17:00～18:00（小学生）

18:30～20:00（中学生）

④ 保護者も含めたキャリア教育の充実《今期重点事業として内容を詰めていく》

- ・入学ガイダンス
- ・進路ガイダンス
- ・ビジネスマナー
- ・先輩の話
- ・にじいろ☆キャンプ
- ・デイキャンプ
- ・就職の話、工場見学、お仕事体験など

2) 外国につながる児童生徒のための学習補習及び心の居場所づくり事業

【清水育英会×中央共同募金会】

- ・外国につながる子どもの学習指導者研修
- ・広域連携ネットワーク構築

3) 認可外保育施設におけるプレスクール(就学前支援教室)【美濃加茂市委託】

2025 年 10 月～2026 年 3 月 毎週 1 回

- ・認可外保育施設の子どもの就学前準備指導
- ・語彙テストや通学のための体力作り
- ・地域交流
- ・学校体験、給食体験など小学校入学を見据えた支援

4) 若者のキャリア形成に向けた支援事業【自治体国際化協会】

- ・外国につながる若者や企業、ハローワークへのヒアリング調査
- ・キャリアアップのための日本語教室や講座

5) 制服リサイクル活動

- ・市内小中学校の制服や体操服などを預かり、利用してもらう
(市内中学校は新制服に変更 移行期間 2024 年度～2028 年度は旧をリユースも OK)
- ・東濃高校の制服リサイクル協力

3 地域社会への多文化共生促進事業

1) 外国人住民の自助活動の促進事業【自治総合センターコミュニティー事業】

- ・外国人住民の地域交流促進
地区センターの講座などの企画への企画や多言語化、既存行事等への参加促進
- ・防災に関する学びの場
防災用語の周知や災害に備える動画の作成

2) 各種団体・学校等での多文化共生に関する連携協力事業

- ・フレビアを拠点に活動する団体の活動支援
多文化演劇ユニット MICHIE 防災等の演劇手法を生かしたワークショップによる情報伝達活動
にほんごサポートネットワーク DOTA 土田小学校の国際学級でのボランティア活動
「ワタシバ」市民による交流型日本語教室活動

- ・地域連携協力活動 企業、行政、学校等との連携活動
やさしい日本語や多文化共生教育などの講師派遣

3) 多文化共生関連団体等との連携協力

- ① 外国人支援・多文化共生ネットワークの活動協力（入管との連携協力）
- ② 外国につながる子どもの教育を考えるネットワーク
- ③ 多文化子育てサロン
定期的な会議を通じた情報交換など
- ④ 全国高校入試調査への協力（岐阜県担当）
- ⑤ NGO との連携 NPO 法人アイキャンとの連携
- ⑥ 企業の CSR 活動等

4) 市民交流活動

- ・フレビアカフェの日の開催
移動販売や趣味の作品などの販売、発表の場を提供
- ・いろいろな言葉で読み聞かせ（カニミライブでの活動）

5) 多文化理解教育事業

- ・学校や各団体への多文化共生に関する講義講師派遣
- ・研修、シンポジウム等での事例報告や講義
- ・国際理解、多文化理解講座の実施や講師派遣
- ・ドキュメンタリー映画を活用した多文化理解講義、研修など

4 情報交流・発信活動

- ・メールマガジンの配信（毎月第1、3木曜日配信）
- ・facebook、Instagram の活用による情報提供

5 協会事務局体制

- ・フレビアの事務管理及び協会事務局体制

常勤7人（相談員を含む）、非常勤1人で交代勤務

開館時間：9:00～22:00 休日：水曜日及び年末年始（12/28～1/4）

- ・事務局体制

事務局 長	： 各 務 眞 弓（事業・総務統括）	フレックス勤務
事務局次長	： 近 藤 利 恵（総務担当他）	フレックス勤務
事務局 員	： 馬 木 照 子（ポルトガル語・スペイン語対応相談員他）	12:00～21:00
	菰 田 さ よ（事業担当）	9:00～18:00
	佐久川カロリーネ（ポルトガル語対応相談員他）	9:00～18:00
	V・ジェームス・Ⅲ（フィリピン語・英語対応相談員他）	9:00～18:00
	渡辺 美也子（勤務シフト 火・木・日曜日）	9:00～17:00
	岡 山 佳 子（経理事務）	9:00～17:00
18時以降の夜勤勤務をシルバー人材に委託		

- ・運営委員（会）

指定管理委託事業及び協会運営業務遂行のため運営委員会を年4回程度開催

- ・協会役員（理事）会

指定管理委託事業及び協会事業執行状況審議のため、年2回以上理事会を開催

開催期日：5月及び11月中旬（必要に応じて臨時開催する場合がある）

（役員会には 可見市地域協働課担当者もオブザーバーとして出席）

- ・コーディネーター会議

事業の進捗及び協会事業の情報共有のため協会が主催する事業のコーディネーターによる連絡会議を年3回程度実施。 必要に応じて随時事務局長が招集する。

- ・その他の会議

事務局スタッフ連絡会議の開催：毎週月曜日（祭日の場合は火曜日）17:00～18:00